

◆事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）

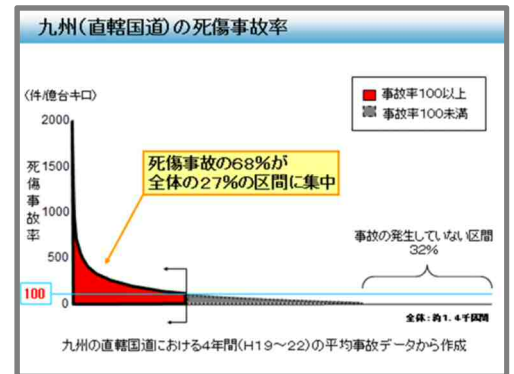
事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）

厳しい財政状況の中で、必要な道路整備を進めていくためには、限られた予算を効率的・効果的に執行し、成果を上げていくことが重要となります。

このため、データ等に基づく「成果を上げるマネジメント」の取組を導入し、交通安全分野における「成果を上げるマネジメント」を『事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)』として取り組んでいます。

◆九州における事故ゼロプランの目的

○九州の直轄国道で発生している交通事故の約70%は、管理区間における約3割の集中した区間で発生しています。このため、交通事故が多発している区間の事故対策を集中的・重点的に取り組むことで、交通事故の撲滅を目指すことを目的としています。



事故ゼロプランの取組み

1. 事故危険区間の選定

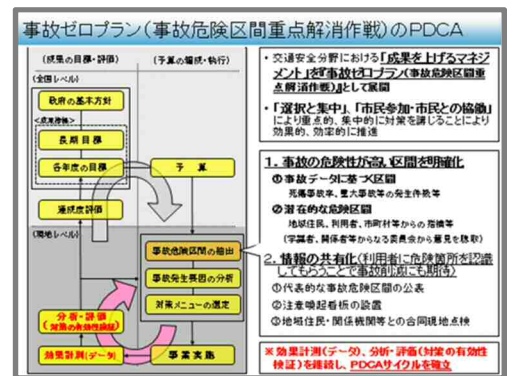
『事故ゼロプラン』では、「選択と集中」、「市民参加・市民との協働」をキーワードとして、事故データや地方公共団体・地域住民からの指摘等に基づき交通事故の危険性が高い区間(事故危険区間)を選定しています。

2. 事故対策への取組み

『事故ゼロプラン』では、地域住民への注意喚起や事故要因に即した対策を重点的・集中的に講じることにより効率的・効果的な交通事故対策を推進しています。

3. 対策後の分析・評価

『事故ゼロプラン』では、対策完了後の効果について計測・評価し、マネジメントサイクルにより逐次改善を図っています。



【事故ゼロプランにおける事故対策の取組み内容】

◆事故の危険性が高い区間の明確化

事故危険区間については、都道府県毎に、①事故データに基づく区間、②潜在的な危険区間を抽出し、学識経験者・関係者等からなる委員会から意見を聴取した上で、都道府県毎に選定しています。

◆情報の共有化

利用者に危険箇所を認識してもらうことで事故削減にも期待できることから、市民との情報共有にも積極的に行うこととしており、①代表的な事故危険区間の公表、②注意喚起看板の設置、③地域住民・関係機関等との合同現地地点検等を実施しています。

事故ゼロプランのパンフレット



注意喚起看板の設置



(引用・参考)
※国土交通省ホームページより

各県・事務所における取組み状況

- ・福岡県 <福岡国道事務所・北九州国道事務所>
- ・佐賀県 <佐賀国道事務所>
- ・長崎県 <長崎河川国道事務所>
- ・熊本県 <熊本河川国道事務所>
- ・大分県 <大分河川国道事務所・佐伯河川国道事務所>
- ・宮崎県 <宮崎河川国道事務所・延岡河川国道事務所>
- ・鹿児島県 <鹿児島国道事務所・大隅河川国道事務所>

その他

【関連機関のリンク】

- ・[国土交通省 道路局](#)

【記者発表資料】

- ・[本局の記者発表記事【“事故ゼロプラン\(事故危険区間重点解消作戦\)”九州で始動\(H22.12.27\)】](#)